

仙台市主催の次世代放射光施設にかかるウェビナーへの協力について

株式会社七十七銀行（頭取 小林 英文）は、東北大学青葉山キャンパスにて2024年度に運営開始を予定している「次世代放射光施設」について、仙台市が主催する当該施設の周知・活用促進を目的としたウェビナーに協力いたしますので、下記のとおりお知らせいたします。

記

開催概要（詳細は別紙のチラシをご参照ください）

名称	放射光で広がる未来のモノづくり ～「光イノベーション都市・仙台」の可能性～
開催日時	2021年11月18日（木）14:00～17:00
開催形態	オンラインライブ配信「Deliveru」（※） ※ライブ配信は、株式会社ファシオのイベント配信プラットフォーム「Deliveru」を利用します。推奨環境・ご質問は下記URLをご参照ください。 【URL： https://deliveru.jp/faq/ 】
プログラム	1. 基調講演 （1）「明日を照らす放射光」 （講師：国立研究開発法人理化学研究所 放射光科学研究センター センター長 石川 哲也 氏） （2）「仙台・次世代放射光施設だからこそできること」 （講師：一般財団法人光科学イノベーションセンター 理事長 高田 昌樹 氏） （3）「次世代放射光における産学官連携支援」 （講師：国際放射光イノベーション・スマート研究センター（SRIS） センター長 村松 淳司 氏） 2. 事例紹介（株式会社ミルボン、東京大学大学院新領域創成科学研究所） 3. パネルディスカッション
参加対象	医薬・医療・生命科学／環境・エネルギー／食品・農水産／化粧品・生活用品／先端材料・素材／半導体・デバイス・エレクトロニクス／品質管理・生産プロセス、等に関連する開発型企业
参加申込	チラシ記載のURLまたはQRコードよりお申込みください。
主催	仙台市
共催	宮城県、国立大学法人東北大学、一般財団法人光科学イノベーションセンター、一般社団法人東北経済連合会
協力	当行、株式会社日本政策投資銀行
後援	文部科学省、経済産業省東北経済産業局

（該当するSDGs）



SDGs (Sustainable Development Goals)

2015年9月に、国連に加盟する全ての国が全会一致で採択した国際目標であり、17のゴールと、169のターゲットから構成されています。
七十七グループは2020年7月に「七十七グループのSDGs宣言～もっと、ずっと、地域と共に。～」を表明しました。



七十七グループは持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています。

もっと、ずっと、地域と共に。



放射光で広がる 未来のモノづくり

～「光イノベーション都市・仙台」の可能性～

2021年11月18日(木) 14時～17時 **参加費無料**

オンラインライブ配信「Deliveru」(<https://deliveru.jp/>)を利用

一般財団法人光科学イノベーションセンター提供

次世代放射光施設とは・・・

放射光施設は、「ナノを見ることができる巨大な顕微鏡」です。

ナノの世界の姿をくっきり見る光として、産業界、学术界で不可欠なツールとなっています。

様々なモノづくり企業の製品開発スピードを加速するための、世界最高水準の分析機能を有する施設です。

対象者

医薬・医療・生命科学／環境・エネルギー／食品・農水産／化粧品・生活用品／先端材料・素材／半導体・デバイス・エレクトロニクス／品質管理・生産プロセス、等に関連する開発型企业

主催



共催 宮城県、東北大学、一般財団法人光科学イノベーションセンター、一般社団法人東北経済連合会

協力 株式会社日本政策投資銀行、株式会社七十七銀行

後援 文部科学省、経済産業省東北経済産業局

お問い合わせ
セミナー事務局

事業創造コンサルティンググループ
東京都中野区本町 2-46-2 TEL 03-5371-6908



株式会社 矢野経済研究所

放射光で広がる未来のモノづくり

～「光イノベーション都市・仙台」の可能性～

参加費
無料

2021年11月18日(木)

プログラム・パネラーのご紹介

13:
30

開場

14:
00

開会のあいさつ



仙台市長 郡 和子氏

14:
05

明日を照らす放射光



国立研究開発法人理化学研究所 放射光科学研究センター
センター長 石川 哲也氏

1982年東京大学博士課程修了(工学博士)。高エネルギー物理学研究所、東京大学工学部を経て1995年から理化学研究所でSPring-8でのビームライン建設を統括。2006年～2011年X線電子レーザー SACLA建設プロジェクトリーダー。2006年より理化学研究所放射光科学総合研究センター(2018年に放射光科学研究センターと改称)センター長。2012年紫綬褒章受章。

14:
30

仙台・次世代放射光施設だからこそできること



一般財団法人光科学イノベーションセンター
理事長 高田 昌樹氏

広島県呉市出身。理学博士。名古屋大学、島根大学、高輝度光科学研究センター、理化学研究所放射光科学総合研究センターを経て、2015年より東北大学多元物質科学研究所教授、2020年7月より現職。産学連携スキーム「コアリション・コンセプト」を基に、東北大学青葉山新キャンパスに建設中である次世代放射光施設の計画推進を行っている。

14:
50

次世代放射光における産学官連携支援



東北大学 国際放射光イノベーション・スマート研究センター
センター長 村松 淳司氏

愛知県出身。1988年東京大学大学院工学系研究科化学エネルギー工学博士課程修了後、東北大学に採用。選鉱製錬研究所、素材工学研究所、多元物質科学研究所にて研鑽を積み、2015年多元物質科学研究所長、2019年1月副理事(次世代放射光計画担当)(現職)、2019年10月国際放射光イノベーション・スマート研究センター長(現職)就任。

15:
10

放射光を活用した研究開発事例について① ～加齢に伴う毛髪変化の解析と頭髪用化粧品～



株式会社ミルボン 研究開発部
統括マネージャー 伊藤 廉氏

愛知県出身。博士(理学)、博士(工学)。2008年 関西学院大学 博士研究員、(財)高輝度光科学研究センター(SPring-8)を経て、2011年(株)ミルボンに入社(現職)。現在、日本化粧品技術者会 運営役員、日本化粧品技術者会 西日本支部 副幹事長、Asian Societies of Cosmetic Scientists (ASCS)、Secretary General、SPring-8ユーザー共同体 評議員

15:
25

放射光施設を活用した研究開発事例について② ～超薄膜化・強硬化「しなやかタフポリマー」～



東京大学 大学院 新領域創成科学研究科
教授 伊藤 耕三氏

1958年山形県生まれ、1986年東京大学大学院博士課程修了(工学博士)。1986年工業技術院繊維高分子材料研究所研究員、1991年東京大学工学部講師、2003年より現職。2014年内閣府革新的研究開発プログラム、2020年ムーンショット型研究開発事業プロジェクトマネージャーを兼務。平成17年度高分子学会賞など受賞。

15:40 休憩

16:
00

パネルディスカッション

次世代放射光はどんな未来を照らすのか？

モデレーター

株式会社矢野経済研究所
代表取締役 水越 孝氏

パネラー

国立研究開発法人理化学研究所
放射光科学研究センター

センター長 石川 哲也氏

一般財団法人
光科学イノベーションセンター

理事長 高田 昌樹氏

東北大学
国際放射光イノベーション・
スマート研究センター

センター長 村松 淳司氏

株式会社ミルボン
研究開発部

統括マネージャー 伊藤 廉氏

東京大学 大学院
新領域創成科学研究科

教授 伊藤 耕三氏

16:50 閉会のあいさつ

【参加方法について】

ライブ配信は、株式会社ファシオのイベント配信プラットフォーム「Deliveru」(<https://deliveru.jp/>)を利用します。お申込み受付後、参加者IDをご連絡いたします。

推奨環境・ご質問は下記URLをご参照ください。
よくあるご質問：<https://deliveru.jp/faq/>

お申し込み・お問い合わせ



弊社ウェブサイトより、お申し込み下さい

<https://www.yano.co.jp/seminar/2021/1118/1118.html>

株式会社 矢野経済研究所

カスタマーセンター TEL: 03-5371-6901